

2008年1月28日

HSBC、1月31日にサービスを開始する「HSBCプレミア」で マス富裕層^(注1)向けに2種類のローンを取り扱おうと発表 ～融資限度額を無くし、高額物件もご購入しやすく～

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融グループである HSBC は、1月31日に傘下の香港上海銀行を通じてサービスを開始する「HSBCプレミア」の商品ラインアップの一部として、マス富裕層向けに2種類のローン商品を販売すると本日発表しました。

HSBC プレミアがサービス開始時に取り扱う住宅および不動産投資ローンの概要は以下の通りです。

HSBCスマート住宅ローン

- ご本人が所有し、ご本人または生計をともにするご家族の居住用住宅の資金です。
- 住宅の建設、増改築、居住用土地の購入、建て売り新築・中古住宅（マンションを含む）などの購入、お借り入れ中の住宅ローンの借り換えなどの用途の資金です。
- HSBC プレミア口座の預金と同額のローン残高に金利がかからない「預金連動型ローン」も選べます。
- 団体信用生命保険に8大疾病特約を無料でお付けします。（保険料当行負担、別途事務手数料などがかかります。）

HSBCスマート不動産投資ローン

- すでにご自宅を所有されている方が、ご本人またはご家族がお住まいになるか、あるいは賃貸するために取得される、あるいはされた不動産用の資金です。
- 住宅の建設、増改築、建て売り新築・中古住宅（マンションを含む）などの購入、お借り入れ中の住宅ローンの借り換えなどの用途の資金です。
- HSBC プレミア口座の預金と同額のローン残高に金利がかからない「預金連動型ローン」も選べます。
- 永住権がない外国籍の方も、現在日本にお住まいであればご利用いただけます。

次頁に続く

Principal members of HSBC in Japan are:
The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited
HSBC Securities (Japan) Limited
HSBC Investments (Japan) K.K.

HSBC スマート住宅ローンはご融資金額に上限がなく（当行が定める担保評価額の90%を上限とします）、利息計算には預金連動する型としない型のどちらかを選ぶことができます。「預金連動型」は、HSBCが世界各国のお客様に提供しているユニークな仕組みのローンです。お客様がHSBCプレミア口座に預け入れている円または外貨の普通預金と同額のローン残高分には、金利がかかりません。借入当初にご預金をお預け入れいただき、お借入後預金を増やしていくことでローンの支払いを抑えることができます。預金とローンの残高が同じになれば、実質金利は0%になります。また、元金均等返済方式を採用しているので、元利均等返済方式のローンと比べて利息の支払いを抑えることができます。

HSBC スマート不動産投資ローンは、都心のマンションのオーナーとしての賃料収入やセカンドハウスのご購入などの用途に幅広くご利用いただけるローンです。こちらもご融資金額に上限がないので（当行が定める担保評価額の90%を上限とします）、たとえば1億円を越える高額物件の資金としてご利用できます。また、預金連動型ローンを選ぶことができます。さらに特徴として、永住権をお持ちでない外国籍の方でも日本にお住まいの場合、ご利用いただけます。

HSBC グループ香港上海銀行個人金融サービス本部マネージングダイレクターのフランソワ・モローは、「HSBCプレミアの商品ラインナップとして、ローンの支払いはなるべく抑え、返済をしながら手元の資金も増やしたいというお客様のご希望に添いやすい預金連動型ローンを提供できることになり、嬉しく思っています。住宅および不動産投資ローンも含め、私たちはHSBCプレミアのお客様の家計ニーズと資産運用ニーズに適したベストな商品をそろえていく予定です」と述べました。

HSBCプレミアは、香港上海銀行を通じて1月31日にサービスを開始するマス富裕層向けの個人向け金融サービスで、1,000万円以上を預入れ可能なお客様のための専門銀行です。

HSBCプレミアが提供する金融商品は、住宅・不動産投資ローン商品の他、保険商品、投資信託、円預金ならびに外貨預金、ストラクチャード定期預金など、幅広くHSBCプレミアのお客様の資産形成のゴールにあわせてお選びいただけるよう、それぞれ豊富な商品ラインナップを取り揃えています。

ご注意

各商品のより詳しい説明は、添付しました「商品説明書」をご参照ください。このニュースリリースに記述した以外に、下記をはじめとするさまざまな条件が適応されます。

次頁に続く

HSBC、マス富裕層向けに2種類のローンを取り扱おうと発表³

- これらのローンのご利用には当行所定の審査があり、資格条件を満たしていることが必要です。
- 「預金連動型ローン」をご利用になる場合、ご預金は普通預金の対象ですが、円預金のほかに外貨預金も対象となります。外貨は、当行取り扱いの13通貨の中から最大4種類を選択いただけます。普通預金残高は毎日計算し、外貨預金は、その日の仲値で円換算し計算されます。
- ご預金は、いつでも引き出すことができます。
- この場合の普通預金は、無利息となりますが、ローンを上回る部分については通常とおり金利が付与されます。外貨は為替の影響を受けますので、円貨換算額が日々増減し、日々の利息計算に影響を与えます。

注記:

1: HSBC では、金融資産 1,000 万円から 1 億円の金融資産を保有されている方々を日本のマス富裕層と定義しています。

添付資料: HSBC スマート住宅ローン/HSBC スマート不動産投資ローン商品説明書

HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で 1 億 2,500 万人を超える顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 83 の国と地域に 10,000 を超える拠点を擁し、2007 年 6 月末現在 2 兆 1,500 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

日本における香港上海銀行

HSBC グループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で 140 年以上営業を続けており、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京支店と大阪支店を通して主に法人向けの金融業務を提供しています。HSBC プレミアのサービス開始にあたっては、新たに支店網を構築する計画です。

HSBC プレミア

HSBC グループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供しています。2000 年にサービスを開始し、2007 年 5 月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の 35 の国と地域で 250 の HSBC プレミアセンター（店舗）が設置されており、200 万人以上の顧客にサービスを提供しています。世界どこにいても自国にいるような感覚で利用できる銀行サービスであり、日本では、お預かり資産残高が 1,000 万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティーの高い個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供します。金融庁の認可を経て、日本では、2008 年 1 月にサービスを開始する予定です。

以上

添付資料：HSBC スマート住宅ローン 商品説明書

2008年1月31日現在

<p>ご利用いただける方</p>	<p>20歳以上60歳以下の方で、最終完済時の年齢が80歳以下の方 安定した収入のある方 ご契約時に来店いただける方 その他、当行所定のお取扱基準を満たされる方</p>
<p>ご資金の使いみち</p>	<p>ご本人が所有し、ご本人または生計を共にするご家族の居住用住宅に関する次の資金とします。 ○住宅の建設、増改築 ○建売住宅（マンション含む）の購入 ○中古住宅（マンション含む）の購入 ○居住用土地の購入資金 ○現在、お借り入れ中の住宅ローン（当行のローンを除きます）の返済資金及び諸費用</p>
<p>ご融資金額</p>	<p>1000万円以上（10万円単位）です。但し当行が定める担保評価額の90%を上限とします。</p>
<p>ご返済期間</p>	<p>1年以上35年以内（1年単位）です。</p>
<p>お借入金利</p>	<p>変動金利型、固定金利3年型、固定金利5年型、固定金利10年型の4つの金利から、お選び頂きます。変動金利型の基準金利は、ご融資実行月ごとに、前月の最終営業日の前営業日の6カ月LIBOR（ロンドン銀行間取引金利）に基づき当行が定めるものとし、店頭および当行のホームページにて公表しています。固定金利型の基準金利は、固定期間に基づき定める当行所定の利率となります。</p> <p>お借入金利は、お借り入れ時点の基準金利です。ただし、ご融資金額により、上記金利に0.3%～0.6%の上乗せ金利が加わる場合があります。上乗せ金利は以下の通りです。</p> <p>ご購入される不動産の当行の担保評価額に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> 6割以内のご融資は、上乗せ金利はございません 6割超かつ8割以内のご融資は、0.30% 8割超のご融資は0.60%です。 <p>お借換の場合は、当行の担保評価額が基準となります。建築・増改築資金につきましても当行の担保評価額により決定します。</p> <p>お借入金利は、お選び頂いた金利の種類ごとに、変動金利型は融資実行日以降6ヶ月ごとの応当日、固定金利型は融資実行日以降それぞれ3年後、5年後、10年後の当該期間満了日の翌日に、その時点の変動金利型の金利水準に基づいて見直され、以後6ヶ月ごとに見直されます。（金利見直し日といいます）なお金利見直日が当行休業日と同日の場合は翌営業日となります。</p> <p>ただし、各見直し日の3営業日前までにお取引店にお申し出いただくことで、見直し日以後の金利として固定金利型（3年、5年、10年）をお選びいただくことができます。</p> <p>固定金利型をご選択の際には、変更手数料（お借り入れ1件ごと、1回につき）10,500円（税込）がかかります。</p> <p>お借入金利の見直しにあたっては、基準金利のみ変更されます。上乗せ金利がある場合、上乗せ金利の見直しはございません。</p>

HSBC、マス富裕層向けに2種類のローンを取り扱おうと発表15

利息計算における相殺計算方法	<p>預金連動するタイプと預金連動しないタイプのどちらかをご選択頂きます。預金連動するタイプをご選択された場合の計算方法は、次の通りです。</p> <p>利息計算開始日以降、利息はローン残高から円普通預金およびマルチカレンシー普通預金（外貨建て）の合計額を差し引いた金額に対してのみ計算されます。お借入金利だけでなく、お客様の貯蓄プランによってご返済負担が大きく異なりますので、当行の窓口にて、必ず試算をしてお確かめ下さい。</p> <p>マルチカレンシー普通預金（外貨建て）残高は、当行所定の為替交換レートをもとに円換算額にて計算します。</p>
ご返済方法	<p>元金均等月賦返済です。ただし利息部分は預金残高に連動して毎月変動します。（店頭にてお申し出いただければ試算いたします。）</p> <p>ご融資額の40%以内まで、ボーナス返済もご利用頂けます。</p>
担保	<p>対象となる物件に当行を第一順位とする抵当権を設定させて頂きます。</p>
団体信用生命保険	<p>万一に備え、当行が契約している保険会社の団体信用生命保険に加入することをお勧めします。</p> <p>保険料相当額は、お客様の口座より月々引き落とさせて頂きます。</p>
火災保険	<p>ご融資期間中は、当行が承認した火災保険にご加入ください。</p>
連帯保証人	<p>保証会社や第三者による保証は原則として必要ありません。</p> <p>ただし、団体信用生命保険に加入されない場合、法定相続人の方1名を連帯保証人として下さい。また、収入合算をなさる場合や共有物件を担保物件とされる場合、収入合算者や物件共有者の方に連帯保証人または連帯債務者になっていただく必要があります。</p>
事務手数料	<p>73,500円（税込）その他、登記費用、印紙税等の費用（実費）がかかります。</p>
繰上返済手数料	<p>100万円以上（10万円単位）で繰上返済いただけます。</p> <p>繰上返済をされる場合には以下の手数料が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上返済額の1%（税別） 例…100万円を繰上返済された場合 10,500円
保証料	<p>なし</p>

添付資料：HSBC スマート不動産投資ローン 商品説明書

2008年1月31日現在

<p>ご利用いただける方</p>	<p>20歳以上60歳以下の方で、最終完済時の年齢が80歳以下の方 安定した収入のある方 ご契約時に来店いただける方 その他、当行所定のお取扱基準を満たされる方</p>
<p>ご資金の使いみち</p>	<p>既にご自宅を所有される方が、ご本人もしくはご家族がお住まいになるか又は賃貸用に供するために取得した不動産に関する次の資金とします。 ○住宅の建設、増改築 ○建売住宅（マンション含む）の購入 ○中古住宅（マンション含む）の購入 ○現在、お借り入れ中の住宅ローン（当行のローンを除きます）の返済資金及び諸費用</p>
<p>ご融資金額</p>	<p>1000万円以上（10万円単位）です。但し当行が定める担保評価額の最大90%を上限とします。</p>
<p>ご返済期間</p>	<p>1年以上25年以内（1年単位）です。</p>
<p>お借入金利</p>	<p>変動金利型、固定金利3年型、固定金利5年型、固定金利10年型の4つの金利から、お選び頂きます。変動金利型の基準金利は、ご融資実行月ごとに、前月の最終営業日の前営業日の6カ月LIBOR（ロンドン銀行間取引金利）に基づき当行が定めるものとし、店頭および当行のホームページにて公表しています。固定金利型の基準金利は、固定期間に基づき定める当行所定の利率となります。 お借入金利は、お借り入れ時点の基準金利です。ただし、ご融資金額により、上記金利に0.3%～0.6%の上乗せ金利が加わる場合があります。上乗せ金利は以下の通りです。 ご購入される不動産の当行の担保評価額に対して 6割超かつ8割以内のご融資は、0.30% 8割超のご融資は0.60%です。 お借換の場合は、当行の担保評価額が基準となります。建築・増改築資金につきましても当行の担保評価額により決定します。 お借入金利は、お選び頂いた金利の種類ごとに、変動金利型は融資実行日以降6ヶ月ごとの応当日、固定金利型は融資実行日以降それぞれ3年後、5年後、10年後の当該期間満了日の翌日に、その時点の変動金利型の金利水準に基づいて見直され、以後6ヶ月ごとに見直されます。（金利見直し日といいます）なお金利見直し日が当行休業日と同日の場合は翌営業日となります。 ただし、各見直し日の3営業日前までにお取引店にお申し出いただくことで、見直し日以後の金利として固定金利型（3年、5年、10年）をお選びいただくことができます。 固定金利型をご選択の際には、変更手数料（お借り入れ1件ごと、1回につき）10,500円（税込）がかかります。 お借入金利の見直しにあたっては、基準金利のみ変更されます。上乗せ金利がある場合、上乗せ金利の見直しはございません。</p>

HSBC、マス富裕層向けに2種類のローンを取り扱うと発表/7

利息計算における相殺計算方法	<p>預金連動するタイプと預金連動しないタイプのどちらかをご選択頂きます。預金連動するタイプをご選択された場合の計算方法は、次の通りです。</p> <p>利息計算開始日以降、利息はローン残高から円普通預金およびマルチカレンシー普通預金（外貨建て）の合計額を差し引いた金額に対してのみ計算されます。お借入金利だけでなく、お客様の貯蓄プランによってご返済負担が大きく異なりますので、当行の窓口にて、必ず試算をしてお確かめ下さい。</p> <p>マルチカレンシー普通預金（外貨建て）残高は、当行所定の為替交換レートをもとに円換算額にて計算します。</p>
ご返済方法	<p>元金均等月賦返済です。ただし利息部分は預金残高に連動して毎月変動します。（店頭にてお申し出いただければ試算いたします。）</p> <p>ご融資額の40%以内まで、ボーナス返済もご利用頂けます。</p>
担保	<p>対象となる物件に当行を第一順位とする抵当権を設定させて頂きます。</p>
団体信用生命保険	<p>万一に備え、当行が契約している保険会社の団体信用生命保険に加入することをお勧めします。</p> <p>保険料相当額は、お客様の口座より月々引き落とさせて頂きます。</p>
火災保険	<p>ご融資期間中は、当行が承認した火災保険にご加入ください。</p>
連帯保証人	<p>保証会社や第三者による保証は原則として必要ありません。</p> <p>ただし、団体信用生命保険に加入されない場合、法定相続人の方1名を連帯保証人として下さい。また、収入合算をなさる場合や共有物件を担保物件とされる場合、収入合算者や物件共有者の方に連帯保証人または連帯債務者になっていただく必要があります。</p>
事務手数料	<p>105,000円（税込）その他、登記費用、印紙税等の費用（実費）がかかります。</p>
繰上返済手数料	<p>100万円以上（10万円単位）で繰上返済いただけます。</p> <p>繰上返済をされる場合には以下の手数料が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰上返済額の1%（税別） 例…100万円を繰上返済された場合 10,500円
保証料	<p>なし</p>